

記者手帳



国会論戦の主舞台になっている衆院予算委員会で、稲田朋美防衛相を安倍晋三首相が援護する場面が目立つ。14日、民進党の後藤祐一氏が南スーダン国連平和維持活動（PKO）派遣部隊の日報問題について稲田氏に尋ねたが、首相がたびたび答弁した。後藤氏は「駆けつけ警護はやめてほしい」と皮肉った。

駆けつけ警護は2015年9月に成立した安全保障関連法に

防衛相を「駆けつけ警護」

基づき、襲撃された民間人らを自衛隊が救出する新任務だ。民進党の辻元清美氏の質問にも、首相が自ら手を挙げて答えた。稲田氏は公式見解を繰り返すことが多く、分かりやすく説明するため助け舟を出した格好だ。

野党のヤジに首相は「私が自衛隊の最高指揮官だから」。辻元氏は「ムキにならないで。防衛相の資質に欠けていることを首相自ら証明することになる」と追及した。安保法で焦点になった駆けつけ警護を巡る論戦が別の形で熱を帯びている。（幸）